

## 2019年度大学入試センター試験 解説〈世界史B〉

### 第1問 歴史的建造物や遺跡 (25点)

A

問1  正解は③。

アンコール=ワットは、12世紀にクメール人のアンコール朝のスールヤヴァルマン2世がヒンドゥー教寺院として建立した。後に仏教寺院に改修された。①ヴェルサイユ宮殿を建てたフランス王はフランソワ1世ではなく、ルイ14世である。②スレイマン=モスクが建てられたのはタブリーズではなく、イスタンブルである。④アルハンブラ宮殿を建てたのはセルジューク朝ではなく、ナスル朝である。グラナダに建てられた王家の宮殿兼要塞でスペイン=イスラーム建築の代表と言われる。

問2  正解は④。

黄巾の乱は、後漢末期の184年に起こった民衆反乱。太平道を創始した張角を首領とする、中国史上最初の宗教結社による反乱である。①トウサン=ルヴェルチュールが独立運動を指導したのはメキシコではなく、ハイチである。メキシコではイダルゴが独立運動を指導した。②ステンカ=ラージンの反乱が起こったのはポーランドではなく、ロシアである。③マルヌの戦いで進撃を阻止されたのはフランスではなく、ドイツである。第一次世界大戦が開戦されるとドイツはフランスに侵攻したが、フランスはイギリスと連合軍を結成してこれを食い止めた。

問3  正解は②。

チャールズ1世が処刑されたのは、17世紀中頃の1649年である。ピューリタン革命の内戦で敗れて、議会派に処刑された。①エドワード1世が模範議会を招集したのは、13世紀末の1295年である。③ジェニー紡績機(多軸紡績機)が発明されたのは、18世紀後半の1764年頃である。飛び杼の発明によって紡績部門の効率化が課題となり、ハーグリーブズが発明した。④労働組合法が制定されたのは、19世紀後半の1871年のことである。当時の政権は自由党のグラッドストーン内閣である。

## B

問 4  4 正解は①。

朝鮮半島では 4 世紀に高句麗が楽浪郡を滅ぼして北部を支配し、南西部では馬韓を統一した百濟、南東部では辰韓を統一した新羅がそれぞれ成立し、三国が並び立つ三国時代となった。②大祚榮が建国したのは高麗ではなく渤海で、7 世紀末に靺鞨人や高句麗の遺民を率いて中国東北部・朝鮮半島北部を支配した。高麗は 10 世紀前半に王建により建国され、朝鮮半島を統一した。③朝鮮の大院君は高宗の実父で、摂政として鎖国政策を行った。④日韓基本条約を結んだ韓国の大統領は李承晩ではなく、朴正熙である。李承晩は初代大統領に就任して朝鮮戦争などを経験したが次第に独裁化が進み、学生デモの高揚により 1960 年に亡命した（四月革命）。

問 5  5 正解は⑥。

a チェルノブイリ原子力発電所の事故が発生したのは、1986 年のことである。ソ連を構成するウクライナで発生した原子力発電所の事故は、発生後しばらく情報統制が行われていたことから被害が拡大し、ゴルバチョフ政権による情報公開（グラスノスチ）のきっかけとなった。b 日中平和友好条約が締結されたのは、1978 年のことである。1972 年のアメリカ合衆国のニクソン米大統領の訪中に続いて、同年に日本の田中角栄首相が訪中して日中国交正常化が実現し、1978 年に日中平和友好条約が締結された。c キューバ危機が発生したのは、1962 年のことである。1961 年にアメリカ合衆国のアイゼンハワー政権がキューバとの国交を断絶したことでキューバは社会主義化を宣言し、ソ連に接近した。キューバが自国防衛のためにソ連のミサイル基地の建設を進めたことにより、東西冷戦下の米ソの対立は頂点に達した。アメリカ合衆国のケネディ大統領とソ連のフルシチョフ第一書記の合意で、ソ連が譲歩して基地は撤去された。よって年代を古い順から正しく配列すると、c → b → a となる。

問 6  6 正解は③。

a は誤文、b は正文である。a クロマニヨン人の洞穴絵画（洞窟絵画）が描かれたスペインの洞窟遺跡はラスコーではなく、アルタミラである。ラスコーはフランスにあるクロマニヨン人の洞穴絵画が存在する遺跡である。b 秦の始皇帝陵は都の咸陽の郊外にあり、その東部から兵馬俑が発見された。

## C

問7  正解は④。

1956年のソ連共産党第20回大会でのフルシチョフによる秘密報告でスターリン批判がなされると、東欧諸国に動揺が走り、ポーランドのポズナニでは民衆の暴動が起こった。①コペルニクスが唱えたのは天動説ではなく、地動説である。②コシューシコ（コシチューシコ）が参加したのはパリ＝コミューンではなく、1775～83年のアメリカ独立戦争である。義勇兵としてワシントンの副官となり、帰国後はポーランド分割に対する抵抗運動を指揮した。パリ＝コミューンはフランスの自治政権で、コシューシコ死後の1871年に結成された。③ピウスツキが政権を握ったのは冷戦下ではなく、第一次世界大戦後の1920年代のことである。

問8  正解は②。

にはホロコースト、にはニュルンベルクが入る。ナチス＝ドイツはユダヤ人などの迫害を行い、特に第二次世界大戦が始まると、ポーランドのアウシュヴィッツ収容所などにユダヤ人を移送して隔離した。ここではユダヤ人の大量虐殺が行われたとされ、この行為をホロコーストという。戦後にドイツ南部の都市ニュルンベルクで開催された、ナチス政権の指導者の戦争責任を問う国際軍事裁判（ニュルンベルク裁判）で、複数の指導者がホロコーストに関与したとして有罪判決を受けた。レジスタンスは枢軸国に占領された地域における抵抗運動である。ハンブルクはドイツ北部の都市で、中世にはハンザ同盟に加入して商業が発展し、第二次世界大戦では連合国軍の空爆によって市街地が破壊された。

問9  正解は②。

一国社会主義を唱えたのはレーニンではなく、スターリンである。①イヴァン3世は15世紀中頃に即位したモスクワ大公で、ビザンツ帝国の滅亡後に最後の皇帝コンスタンティノス11世の姪と結婚して帝国の後継者を自任し、君主の称号として皇帝を意味するツァーリを用いた。③ゴルバチョフはソ連の指導者で、1980年代後半に情報公開（グラスノスチ）などを柱とする改革（ペレストロイカ）を行った。④ケレンスキーは社会革命党（エス＝エル）の政治家で、1917年のロシア二月革命（三月革命）で成立した臨時政府に参加した。同年に首相となり戦争の継続を図ったが、ロシア十月革命（十一月革命）で失脚した。

## 第 2 問 記録や文字 (25 点)

A

問 1  正解は②。

フランドル地方は毛織物工業が盛んな地域で、イングランドは原料供給地として羊毛を生産して輸出していた。イングランドでは 15 世紀頃より羊毛の増産を目的に**囲い込み**(第 1 次)が進行した。①クヌート (カヌート) の出身地はイングランドではなく、デンマークである。デンマーク王子のクヌートは 11 世紀前半にイングランドに侵攻して征服し、**デー**ン朝イングランド王となった。③スウェーデン王**グスタフ = アドルフ**が参戦したのは、17 世紀前半の**三十年戦争**である。**ファルツ継承戦争** (ファルツ戦争、プファルツ継承戦争) では、スウェーデンはフランス王ルイ 14 世に対抗するアウクスブルク同盟を結成して参戦したが、当時のスウェーデン王はカール 11 世である。④**航海法**を制定したのはジェームズ 1 世ではなく、ピューリタン革命によって成立した**クロムウェル**政権である。オランダの中継貿易に打撃を与えるもので、これをきっかけに**イギリス = オランダ戦争** (英蘭戦争) が起こった。ジェームズ 1 世はスコットランド出身の**ステュアート**朝初代イングランド王で、**王権神授説**を信奉して**絶対王政**を展開した。

問 2  正解は②。

19 世紀のアフリカ分割の中で、ドイツは**カメルーン**のほか**トーゴ・ナミビア** (南西アフリカ植民地)・**タンガニーカ** (東アフリカ植民地) を獲得した。①**フォークランド** (マルビナス) **諸島**の領有をめぐるイギリスと戦ったのは**ブラジル**ではなく、**アルゼンチン**である。③**ホルムズ**を占領したのはフランスではなく、**ポルトガル**である。17 世紀にイギリスの支援を受けた**サファヴィー朝**が奪取した。④**ニューファンドランド**を獲得したのは、オランダではなく、**フランス・イギリス**である。18 世紀前半の**ユトレヒト条約**でフランスからイギリスに割譲された。

問 3  正解は③。

イングランドを征服したのは**マジヤール**人ではなく、**ノルマン**人である。**バイユー**はフランス北西部 (ノルマンディー地方) の都市で、大聖堂に**ノルマンディー公ウィリアム** (イングランド王ウィリアム 1 世) がイングランドに侵攻した 1066 年の**ヘースティングズ**の戦いの様子をつづった**刺繍画** (タペストリ) が収められていた。①**アショーカ**王は**ガンジス川**沿いの**パータリプトラ**を都とする**マウリヤ朝**の王で、領土を拡大する過程で**仏教**に帰依し、領内の各地に詔勅を刻んだ**石柱碑**や**磨崖碑**を建立した。②**カエサル**は前 1 世紀の共和政ローマの政治家で、**ガリア**地方 (現在のフランス) への遠征に成功し、その時の様子を自身で『**ガリア戦記**』としてまとめた。④**ダヴィド**はフランスの**古典主**

義を代表する画家で、ナポレオンの賛美者となり、彼を題材とする「ナポレオンの戴冠式」などの絵画を描いた。

## B

問 4  正解は③。

には完顔阿骨打ワンヤン ア グ ダ、には女真文字じょしんが入る。金きんは中国東北部に居住する女真人の完顔阿骨打が建国した王朝で、彼は契丹文字きつたんと漢字を参考に女真文字を作成させた。耶律大石や りつたいせきは遼りょうの王族で、金と宋そう（北宋）によって遼が攻撃されたときに西方に逃亡し、中央アジアで西遼せいりょう（カラキタイ）を建国した。満州文字まんしゅうは、17世紀に建国した女真人の後金こうきん（清しん）の建国者ヌルハチが制定した民族文字である。

問 5  正解は①。

ホラズム = シャー朝（ホラズム朝）は西アジアに成立したイスラーム王朝で、ゴール朝を滅ぼして13世紀初めに最盛期を迎えたが、モンゴル帝国のチンギス = ハンの攻撃を受けて破れ、その後滅亡した。チンギス = ハンの子のオゴタイ = ハンの治世に最後の王が殺されて完全に滅亡した。②ワールシュタットの戦いが起こったのはオゴタイ = ハンの治世であり、チンギス = ハンの孫のバトウが指揮した。③大都だいとを都に定めたのは、フビライ = ハンである。④チャハル（チャハル部）は内モンゴルの部名で、モンゴルの再統一を目指したが、17世紀前半に後金の太宗（ホンタイジ）に従えた。

問 6  正解は③。

地図中の a はアンカラ、b はプレヴェヅ沖である。アンカラはアナトリア（小アジア）中部の都市で、現在のトルコ共和国の首都。中央アジア・西アジアを征服したティムールは西進し、オスマン帝国のバヤジット1世とアンカラで会戦して勝利し（アンカラの戦い）、バヤジット1世を捕虜とした。プレヴェヅはイオニア海の都市で、この近海でオスマン帝国の艦隊が、スペイン・ヴェネツィア・ローマ教皇の連合艦隊を破った（プレヴェヅの海戦）。1538年に起こり、当時のオスマン帝国のスルタンはスレイマン1世である。

## C

問 7  正解は③。

17世紀のイギリスは、1623年のアンボイナ事件で東南アジアの香辛料貿易から撤退し、インドでの貿易に注力した。その際にインド南東部のマドラス、西部のボンベイ、東北部のカルカッタなどに東インド会社の拠点を築いて要塞化した。①ムガル帝国の領土が最大となったのは、アクバルではなく17～18世紀のアウラングゼーブの時代である。

アクバルは 16～17 世紀のムガル帝国の皇帝で、中央集権化を進めるとともに異教徒との融和を図った。②チョーラ朝が使節を派遣したのは清ではなく、宋（北宋）である。④ヴィジャヤナガル王国は、インド洋交易で馬を大量に輸入し、主に綿布や香辛料を輸出した。

問 8  正解は①。

ヘロドトスは前 5 世紀のギリシア人歴史家で、アケメネス朝ペルシア帝国との戦争（ペルシア戦争）の歴史を扱った『歴史』を著した。②司馬遷<sup>しばせん</sup>は前漢の歴史家で、上古～前漢の武帝期までの時代を紀伝体で『史記』にまとめた。③イブン＝ハルドゥーンは 14 世紀のチュニス出身の歴史家で、複数のイスラーム王朝に仕えたほか、都市と農村の関係性や歴史法則などについて考察した『世界史序説』（『歴史序説』）を著した。④ランケは 19 世紀のドイツの歴史学者で、文献を客観的に検証する史料批判に基づく近代歴史学を創始した。

問 9  正解は①。

プロイセンでは西ヨーロッパ向けの輸出用穀物の生産のために農民の支配が強化され（再版農奴制）、農場領主制（ゲーツヘルシャフト）が拡大した。広大な農地を持つ領主はユンカーと呼ばれ、ドイツの支配者階層となった。②古代ローマの貴族はプレブスではなく、パトリキと呼ばれた。プレブスは平民を指す。③宋代には貴族にかわって、士大夫<sup>たいふ</sup>が台頭した。貴族は唐代後半～五代十国時代にかけて没落した。④アンシャン＝レジーム（旧体制・旧制度）のフランスで第一身分とされたのは、聖職者である。貴族は第二身分、平民は第三身分とされた。

## 第 3 問 国際関係（25 点）

### A

問 1  正解は③。

1933 年にアメリカ合衆国の大統領に就任したフランクリン＝ローズヴェルトはニューディールと呼ばれる政策を施行し、国民の購買力を高めるために雇用の拡大を目指して、大規模な公共事業を推進した。テネシー川流域開発公社（TVA）の設立もその一環で、ダム建設による大量の労働者の雇用を図った。完成したダムは水力発電所ともなり、アメリカ合衆国内に電力を供給した。①アメリカ合衆国は第一次世界大戦の影響で、債務国から債権国に転じた。②革新主義の影響で、企業の独占が抑制された。④アメリカ＝イギリス戦争（米英戦争）の影響でイギリスからの工業製品の輸入が途絶し、アメリカ合衆国では北部を中心に工業化が進展した。

問 2 20 正解は③。

15 世紀初めに北ベトナムは明の永楽帝<sup>みん えいらく</sup>の侵攻を受けて征服されていたが、永楽帝の死後に黎利<sup>れいり</sup>が明軍を駆逐してベトナムの独立を回復し、黎朝を創始した。①モザンビークはイタリアからではなく、ポルトガルから独立した。ポルトガルはモザンビークのほか、アフリカではアンゴラやギニアビサウを植民地とした。②ギリシアはオーストリアからではなく、オスマン帝国から独立した。ギリシア独立戦争が起こると、保守的なウィーン体制下でありながらもヨーロッパ諸国がギリシアを支援し、独立を達成した。④シンガポールはインドネシアからではなく、マレーシアから独立した。シンガポールは海峡植民地の一部としてイギリスの植民地となり、第二次世界大戦後の 1959 年には自治領となった。その後、1963 年に成立したマレーシアの一部となったが、1965 年に分離・独立した。

問 3 21 正解は①。

世界恐慌が起こると、イギリスは本国と自治領・植民地との経済的な結びつきを強化し、ブロック経済を形成した。1932 年にカナダのオタワでイギリス連邦経済会議（オタワ連邦会議）が開催され、イギリスの通貨ポンドを基軸とするスターリング＝ブロック（ポンド＝ブロック）を形成した。この結果イギリスは自治領からの輸入額が増加することとなり、そのため折れ線グラフでは 1933 年以降増加傾向にある a がカナダからの輸入額の推移であることが分かる。ちなみに、スターリング＝ブロックはアルゼンチンなど自治領・植民地以外の国も参加した一方で、カナダはイギリスの自治領ではあるものの本国の統制を嫌うとともに、隣国のアメリカ合衆国との結びつきが強いため、スターリング＝ブロックではなくドル＝ブロック圏に組み込まれている。ダンバートン＝オクス会議は 1944 年にワシントン郊外で開催され、国際連合憲章の原案が作られた。

B

問 4 22 正解は②。

テキサスはメキシコの一部であったが、独立運動の結果メキシコから自立した。その後アメリカ合衆国がテキサスを編入したために、アメリカ＝メキシコ戦争が起こった。この戦争で勝利したアメリカ合衆国はカリフォルニア・ニューメキシコを獲得した。①1707 年にグレートブリテン王国が成立したときの君主はメアリ 1 世ではなく、ステュアート朝のアン女王である。メアリ 1 世は 16 世紀半ばのテューダー朝のイングランド王であり、スコットランドを領有していない。③トリエステ・南チロル（「未回収のイタリア」と呼ばれる）の領有をめぐるイタリアが対立したのはフランスとではなく、オーストリアとである。④ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体（ECSC）を基に結成されたのは、ヨーロッパ

経済共同体 (EEC) やヨーロッパ共同体 (EC) などである。ヨーロッパ自由貿易連合 (EFTA) はイギリスがヨーロッパ経済共同体に対抗して結成した国際経済協力機構である。

問 5 23 正解は①。

地図中の a ではスペイン・ネーデルラント・南イタリア・オーストリアなど、b ではネーデルラント南部・オーストリア・ハンガリーなどが領域として示されており、ハプスブルク家の支配領域であることが分かる。ハプスブルク家はスイス出身で、13 世紀にオーストリアに所領を持ち、15 世紀前半以降神聖ローマ皇帝位を事実上世襲した。16 世紀前半に神聖ローマ皇帝マクシミリアン 1 世の孫がスペイン王カルロス 1 世として即位し、スペイン王家が持っていたスペイン王国・ナポリ王国・シチリア王国やそれらの所領であるネーデルラントなどを相続した。地図 a はそのカルロス 1 世 (神聖ローマ皇帝としてはカール 5 世) が引退する 16 世紀半ばの支配領域である。その後、ハプスブルク家はスペイン系・オーストリア系に分かれ、1700 年にスペイン系が断絶すると、スペイン = ハプスブルク家領はフランスのブルボン家が相続した。オーストリア = ハプスブルク家は三十年戦争後に中欧・東欧への進出を図り、17 世紀末にハンガリーを獲得した。さらに 18 世紀前半に起こったスペイン継承戦争の結果締結したラシュタット条約で南ネーデルラントを獲得し、18 世紀半ばのマリア = テレジアの時代には地図 b の領域を支配することとなった。

問 6 24 正解は④。

オスマン帝国は第一次世界大戦が始まると同盟国側で参戦したが敗戦し、セーヴル条約によって領土が大幅に縮小した。①カルロヴィッツ条約で失ったのはエジプトではなく、ハンガリーなどである。エジプトは 19 世紀前半に総督ムハンマド = アリーが 2 度のエジプト = トルコ戦争を戦い抜いてオスマン帝国から自立した。②カピチュレーションを与えたのはムスリム商人ではなく、友好国のヨーロッパ商人に対してである。③オスマン帝国で施行されたのは軍管区制 (テマ制) ではなく、ティマール制である。軍管区制はビザンツ帝国 (東ローマ帝国) で施行された軍事・行政制度であり、土地の徴税権を認めたのはプロノイア制である。

C

問 7 25 正解は②。

イブン = バットウータはモロッコ出身の旅行家で、ヨーロッパ・アフリカ・アジア諸国を旅行し、帰国後に自身の知見を口述して『旅行記』 (『三大陸周遊記』) にまとめた。

①サンティアゴ = デ = コンポステラ (サンティアゴ = デ = コンポステラ, サンチャゴ

=デ=コンポステラ) への巡礼熱が高まったのは古代ローマではなく、中世西ヨーロッパ世界のことであり、ローマ・イェルサレムと合わせて三大巡礼地となった。③ピルグリム=ファーザーズ(巡礼の父祖)はカトリック教徒ではなく、ピューリタン(イングランドのカルヴァン派)の一団が含まれていた。④メッカへの巡礼の途上で大量の金を使用したマンサ=ムーサは、ソンガイ王国ではなくマリ王国の王である。ソンガイ王国は15世紀にマリ王国を衰退させた黒人王国である。

問8 26 正解は①。

マムルーク朝は1250年にアイユーブ朝を倒して成立したエジプトのイスラーム王朝で、アッバース朝を滅ぼして西進したモンゴル帝国軍を、シリアのアイン=ジャールートの戦いで破った。この戦いで活躍したバイバルスは戦後スルタンに即位し、アッバース家をカイロに招いて保護した。②十字軍を破ってイェルサレムを奪回したのは、アイユーブ朝のサラディン(サラフ=アッディーン)である。③北インドへの侵入を繰り返したのは、アフガニスタンに成立したガズナ朝やゴール朝である。④アナトリアに進出してビザンツ帝国を圧迫したのは、セルジューク朝である。分家がアナトリアにルーム=セルジューク朝を創始した。

問9 27 正解は④。

10世紀初めにチュニジアで成立したファーティマ朝の君主はアリーの子孫を自称してシーア派を信仰し(ファーティマはムハンマドの娘でアリーの妻)、スンナ派のアッバース朝のカリフの権威を否定して君主の称号にカリフの称号を使用した。①古代エジプトではファラオの墓としてピラミッドが建造されたが、権力を誇示する大規模なものが多く建てられたのは、新王国時代ではなく古王国時代である。②教皇の至上権が確認されたのはニケーア公会議ではなく、16世紀半ばのトリエント公会議である。ニケーア公会議は4世紀に開催され、アタナシウスの説を正統としてアリウスの説を異端とした。③法による統治を主張したのは墨家ではなく、法家である。墨家は無差別の愛(兼愛)や侵略戦争の否定(非攻)を主張した。

## 第4問 宗教と政治 (25点)

A

問1 28 正解は①。

前5世紀後半のギリシアでは、スパルタを盟主とする陣営とアテネを盟主とする陣営の間で戦争が起こり(ペロポネソス戦争)、スパルタはアテネと抗争して勝利した。②カイロネイアの戦いでは、アテネ・テーベ連合軍はマケドニアのフィリッポス2世に敗北

した。③テミストクレスがペルシア軍に勝利したのはアクティウムの海戦ではなく、サラミスの海戦である。アクティウムの海戦は前 1 世紀にローマのオクタウィアヌスがアントニウスとプトレマイオス朝エジプト王国を破った戦いである。④スパルタを盟主としたのはデロス同盟ではなく、ペロポネソス同盟である。デロス同盟の盟主はアテネである。

問 2 29 正解は③。

フランク王国のピピン 3 世による「ピピンの寄進」は、8 世紀中頃の 756 年の出来事であり、年表中の c の時期にあたる。年表中の 711 年の西ゴート王国の滅亡によってイスラーム勢力はヨーロッパへの進出を本格化させ、ウマイヤ朝の軍はイベリア半島からさらに北上を続けてガリアに侵攻した。これに対し、メロヴィング朝フランク王国の宮宰カール = マルテルは 732 年のトゥール・ポワティエ間の戦いでウマイヤ朝軍を撃破し、カロリング家の名声が高まった。その子ピピンは 751 年に王位を奪ってカロリング朝を創始したが、これをローマ教皇が公認したことで両者は接近し、ピピン 3 世は教皇の要請に応じてランゴバルド王国を攻撃し、占領したラヴェンナ地方を教皇に寄進した。これを「ピピンの寄進」という。

問 3 30 正解は③。

ウィーン会議は 1814 ~ 15 年に開催された国際会議で、ナポレオン戦争後の国際関係について討議した。参加国が多く利害関係の一致が難しかったため長期化し、進まない昼間の会議の一方で夜間の舞踏会が派手に行われていたことから、「会議は踊る、されど進まず」と風刺された。①『<sup>くしんらいきん</sup>愚神礼讃』(『愚神礼賛』)で教会を風刺したのはラブレーではなく、ネーデルラントのエラスムスである。ラブレーはフランスの文人で、『ガルガンチュアとパンタグリユエルの物語』を著して当時の社会を風刺した。②イギリス領北アメリカ植民地の人々が「代表なくして課税なし」と主張して撤回させたのは全権委任法でなく、印紙法である。全権委任法は 1933 年にドイツ (ヴァイマル共和国) のナチス政権が制定したもので、国会の持つ立法権を行政政府に移譲することを内容とした。④古代ギリシアで政治を風刺する喜劇を主に作ったのはヘシオドスではなくアリストファネスで、ペロポネソス戦争を題材とする『女の平和』などを作った。ヘシオドスは詩人で、神々の系譜を記した『<sup>しんとうき</sup>神統記』や勤労を説く『労働と日々』などを著した。

## B

問 4 31 正解は①。

呉楚七国の乱は、前漢の景帝の時代に起こった諸侯王の反乱で、鎮圧後に前漢は実質的に郡国制から郡県制に移行し、次の武帝の時代に中央集権化が進んだ。②国家の中央機関として三省・六部が設けられたのは、隋の時代である。③土木の変が起こったのは、明の時代である。万里の長城を越えて侵攻したオイラト（オイラト部）のエセンに対し、英宗（正統帝）が親征したが、土木堡でオイラト軍の捕虜となった。④八王の乱が起こったのは、3 世紀末の晋（西晋）の時代である。武帝（司馬炎）死後の第 2 代皇帝（恵帝）の周囲で起こった政権争いで、司馬氏の諸王による内乱となった。

問 5 32 正解は④。

南宋の朱熹（朱子）は周敦頤以来の宋学を大成させた儒学者で、五経よりも四書を重要視して『四書集注』を著した。①顧炎武が基礎を築いたのは陽明学ではなく、考証学である。陽明学は王守仁（王陽明）によって確立した。②韓愈は修辞に凝った四六駢儷体を批判し、古文の復興を主張した（古文復興運動）。③『四庫全書』を編纂したのは明ではなく、清の乾隆帝である。明代には『四書大全』・『五経大全』・『永楽大典』などが編纂された。

問 6 33 正解は③。

ウマイヤ朝の侵攻を撃退したビザンツ帝国のレオン 3 世は、イスラーム教勢力に対抗して、聖像禁止令（聖像崇拜禁止令）を發布して偶像崇拜を禁止した。ローマ教会はこれに反発し、フランク王国と接近していくことになる。①雲崗に築かれたのは道教ではなく、仏教の石窟寺院である。魏晋南北朝時代には仏教が流行し、平城郊外の雲崗のほか、洛陽郊外の竜門や敦煌（莫高窟）で石窟寺院が開削された。②ミトラ教が流行したのは神聖ローマ帝国ではなく、古代のローマ帝国である。④イル＝ハン国のガザン＝ハンが国教としたのはユダヤ教ではなく、イスラーム教である。

## C

問 7 34 正解は③。

a は誤文、b は正文である。a 太陽神ラーが信仰されたのは古代インドではなく、古代エジプトである。b インカ帝国はケチュア人がアンデス地方に建国した国家で、太陽神を信仰しており、皇帝が太陽の化身（太陽の子）として君臨する神権政治を行っていた。

問8 35 正解は②。

ラス＝カサスはドミニコ会修道士で、アメリカ大陸に渡ってスペインによる先住民（インディオ）の酷使を目の当たりにし、エンコミエンダ制を批判する『インディアスの破壊に関する簡潔な報告』をスペイン王カルロス1世に提出した。①ピサロが滅ぼしたのはアステカ王国ではなく、インカ帝国である。アステカ王国はコルテスによって滅ぼされた。③ポトシで開発された鉱山はダイヤモンドではなく、銀である。アメリカ大陸で産出された銀は、ヨーロッパやアジアに持ち込まれた。④スペインとトルデシリャス条約を結んだのはオランダではなく、ポルトガルである。1494年に締結された植民地分界線を画定する条約で、大西洋上（一部ブラジルなどにかかる）に境界線を引いた。マゼラン（マガリャンイス）艦隊が世界周航を達成すると、1529年にサラゴサ条約が締結されてアジア側にも分界線が設定された。

問9 36 正解は③。

ドイツ軍がゲルニカを空爆したのは1937年のことで、前年に始まったスペイン内戦でフランコ將軍率いる反乱軍を支援するために行った。これを題材としてピカソは「ゲルニカ」を描いた。残りの3つの選択肢は、全て第二次世界大戦後の出来事である。①第1回先進国首脳会議（サミット）が開催されたのは、1975年のことである。フランスのランブイエで開催され、第1次石油危機後の世界経済を討議した。②アフリカ統一機構（OAU）が結成されたのは、1963年のことである。アフリカ諸国のほとんどが第二次世界大戦後に独立したので、戦後のことであることは考えやすい。④トルーマン＝ドクトリン（トルーマン宣言）が発表されたのは、第二次世界大戦終結後の1947年のことである。戦後は米ソの対立が表面化して、冷戦に突入することとなった。この出来事は、アメリカ合衆国によるソ連の「封じ込め」の初期のものである。